

令和 3 年度の事業報告書

特定非営利活動法人 BeCOM
代表理事 西田 美樹

1 事業の成果

【1】2021 COM CUP 英語・日本語スピーチ大会（オンライン）

主催 2021 COM CUP 実行委員会／大会事務局 NPO 法人 BeCOM

豊かなコミュニケーション能力を支える語学力の育成と異文化理解、国際交流意識の向上を目指し開催。BeCOM では大会事務局として大会支援に努め、時代に求められる学びの場づくりに取り組んだ。

（1）2021 COM CUP 英語・日本語スピーチ大会の開催支援

- 審査会>2021 年 12 月 4 日（土）13:00～16:00 銚子商工会議所にて
 - ・実行委員、審査員への諸連絡、情報共有
 - ・審査会運営（会場準備、応募動画視聴の準備、審査会の進行）
 - ・審査講評の記録動画公開
- 大会>2021 年 12 月 19 日（日）13:00～14:15 ZOOM ライブ配信
 - ・ZOOM 配信のための技術支援
 - ・審査結果の発表およびサイト更新
 - ・ゲスト招集
 - ▷銚子市市長 越川信一氏より、英語弁論部門の銚子市長賞受賞者、及び参加者へのご挨拶、銚子市における多文化共生への取り組みのご紹介。
 - ▷ちば国際コンベンションビューロー千葉国際交流センター登録講師、David Sugianto 氏より、ご自身の国際交流活動や母国インドネシアについてご紹介、及び進行役とのトーク。
- 英語／日本語弁論の部>伝えたいことを明確にし、聞き手に分かりやすい表現、構成を考え、伝える力の向上を目指し実施。（中学 1 年生～一般成人 対象）
 - ・参加者：英語弁論の部 7 名／日本語弁論の部 4 名
 - ・弁論テーマを「resilience～レジリエンス～」とし、「逆境や困難をしなやかに跳ね返す力・復元力」と訳されるこの力が引き出され、共有する機会とした。
- 英語ショートスピーチ動画の部>COMCUP20 周年特別企画として昨年実施した部門。
 - 多様な参加者が挑戦や表現の機会として活用され、参加者の層が広がり、本年も継続して実施。（年齢、国籍、居住地不問）
 - ・参加者：20 名
 - ・参加者居住地：千葉県、茨城県、和歌山、福島、台湾、ジャマイカ
 - ・英語と ICT を活用し表現する、笑顔と工夫溢れる動画が寄せられた。
 - ・特別賞を選出、授与してくださる協賛企業を募り、大会への理解と支援につなげた。→銚子プラザホテル賞／ひまわり手芸店賞

(2) COMCUP サイトの更新、管理、大会 PR への活用 <https://comcup.jp>

- ・大会に関する情報、動画コンテンツの制作・公開、COMCUP の目指すこと、活動支援の募集などを見える化し、広く情報の発信、共有に取り組んだ。
- ・メールやインスタの DM にて、広域の民間教育機関、国際交流事業関連者等へ大会概要および公式サイトの PR を行い、周知に努めた。
- ・サイト内の応募フォームからスピーチ動画の受け付け、取りまとめを行い、潤滑な運営に努めた。

(3) 資金調達への取り組み

- ・NPO のためのオンラインの寄付決済・支援者管理システム「コングラント」に登録。
(当年度寄付件数 3 件 13,000 円)
- ・「yogibo」を運営する株式会社ウェブシャーク様による社会貢献活動「TANZAQ」プロジェクトにエントリー。
- ・2001 年からの協賛団体である銚子ロータリークラブ様の定例会にて卓話。COMCUP の主旨のご理解、ご支援の継続

(4) 対談動画「COMCUP DOORS」、弁論作成ヒント動画の作成・公開

幅広い学習者層をメインターゲットとして意識し、多様性、異文化理解をキーワードに、未来のとびらを開くゲストを迎えた対談動画を作成、公開。

スピーチ大会とは異なるアプローチで、豊かなコミュニケーション能力を支える語学力の育成と異文化理解、国際交流意識の向上を目指した。また、COMCUP の周知につなげることを目指した。

▷ 「COMCUP DOORS vol.3」ゲスト及び「Tips for COMCUP」講師

Ms.Amber Hermanson アメリカ出身／銚子市立銚子高等学校英語科教師
2015COMCUP グランドプライズ受賞

▷ 「COMCUP DOORS vol.4」ゲスト

河野陽介氏 茨城県出身／東京藝術大学卒業／声楽家／
銚子市地域おこし協力隊／茨城県人権教育講師

【2】ことばの冒険

地域で生まれ、育つ子供たちが、豊かで前向きな言語生活を送ることを願い、本年度も「ことばの冒険」事業を実施。

地域の楽しい学びの場として、さまざまな大人たちが関わり、子どもたちがたくさんの言葉や文章を学び、たくさんの本と出会い、人と出会い、たくさんの言葉を使う体験をし、コミュニケーションを図ることで、心豊かな人間として成長できることを目指す。

（1）ことばの冒険の部屋（オンライン）

日 程	令和3年10月9日（土）～令和4年2月19日（土） 10時～11時 計5回×2クラス、及び1回の個別作文指導
参加者	小学1年生～4年生 11名（昨年度継続6名・新規5名）
場 所	すきくるステーションにてZOOM開催
内 容	読み聞かせ、本の紹介、昔話のカルタクイズ、 オリジナルキャラクターうさびよんの自己紹介文づくり、 参加者全員による「ぼくのわたしの今月の1冊」紹介 ブックトークとパネルシアター（ゲスト 岸本香奈子氏／岸本傑氏） ゲストトーク「私と本のかかわり」「本の紹介」（ゲスト 網中萌恵氏） おすすめの本の作文個別指導（オンライン・対面で希望制）

- ・毎回の活動の各自が読んだ本を一冊紹介するコーナーでは、全員が毎回紹介できた。短時間でも発表を重ね、また、他の子の発表を聞き、回を重ねるにつれ、自信をもって発表するようになった。
- ・オンラインで市内外の参加者が集まるため最初は緊張もあったが、活動の中で挨拶や声を掛け合い、感想を述べ合い、本を通して交流が進んだ。
- ・様々な人からの紹介でたくさんの本を知り、読書の分野が広がった。
- ・外部からのゲスト招集により、多様な活動ができた。
岸本香奈子氏（元 司書）ブックトーク・パネルシアター
岸本傑氏（元 劇団員）パネルシアター
網中萌恵氏（大学生／BeCOM 主催 日本語暗唱教室に小学生の頃参加）
ゲストトーク「私と本のかかわり」「本の紹介」
この他、元 幼稚園園長先生が当活動にご興味を持たれ、ご参観して下さった。
- ・作文は決して簡単ではないが、例文を示したり、個別指導で思いを聞き取りながら指導。全員が最後まで根気良く取り組み、書き上げ成就感を味わった。

（2）ことばの冒険の旅 私のおすすめの本 作文コンクール

募集内容	おすすめの本の紹介文（600～1,200字）
参加者者	市内外の小学1年生～4年生75名（内ことばの冒険の部屋参加者11名）
募集期間	令和3年1月31日（月）～2月24日（木）

- ・おすすめの本を選び、伝えようとする子供たちの豊かな表現の場となった。
 - ・市内外の個人応募の他、市内明神小学校、旭市立三川小学校、旭市立干潟小学校から多数の応募があり、学校の授業で学習したことを発表する場の一つとなった。
 - ・銚子市公正図書館と連携し、読書活動の推進につなげた。（審査員としての参加、及び銚子市教育長賞の授与。）

【3】ショッピングサイト「ITOGUCHI」

商品を購入することで BeCOM の活動への寄付につながるショッピングサイト「ITOGUCHI」を昨年開設、本年も継続。活動の理解、資金調達につなげた。
<https://becom.official.ec/>



【4】協働によるまちづくりを進める銚子円卓会議への参画

まちづくりに関わる多様な主体が連携し、「ヒト」「モノ」「コト」「カネ」などの地域資源を発掘・育成・架橋することで地域課題の解決に取り組む銚子円卓会議の協働事務局として、以下などの推進、事務管理、広報、資金調達、架橋に取り組んだ。
また、事業報告書の作成を行った。(別紙添付資料有り)

- ・ インターシップ受け入れ促進
- ・ 地域通貨流通促進に係るインフラ整備
- ・ 中間支援体制の調査・検討
- ・ 人材育成・多世代交流を進める市民参加型まちづくりワークショップの開催

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
COM CUP 英語・日本語 スピーチ大会	コミュニケーション能力としての語学力育成を目指す英語・日本語スピーチ大会 (オンライン)	審査会 12月4日 大会 12月19日	銚子商工会館 5階大会議室 すきくる ステーション	30	市内外の学生 留学生、一般 31名	213,689
ことばの冒険の部屋 ことばの冒険の旅	すべての学びのものと となる「読書」 に関わる教室 (オンライン) 及び 作文コンクール	教室6回 10月 ～2月 及び コンクール 2月	すきくる ステーション	15	小学校1年生 ～4年生 75名	34,179
すきくる プロジェクト	地域通貨の流通促進を支える事務業務及び、広報	通年	市内	10	一般	
インターン支援事業	銚子円卓会議事業。課題解決型インターンシップ事業の企画及び支援	9月～3月	市内	5	中学生・高校生 大学生 企業 一般	
企業研修プログラム 推進事業	銚子円卓会議事業。企業向け社会人研修プログラム開発	通年	銚子市役所内 会議室	2	一般	
BeCOM サイト更新	BeCOM の目指すこと、活動など 情報発信ツールとしてのサイト構築	通年	すきくる ステーション		一般	